

1. 主な研究内容について

女性の健康増進を主な研究テーマとし、若年女性の月経に関連する症状、周産期女性の腰部・骨盤帯機能障害に対する調査等を行っております。研究方法としては質問紙を用いたアンケート調査や各種センサを用いた実測実験を行っております。実測実験では、現在は慣性センサや床反力計を用いた動作解析、筋電図や超音波画像診断装置による筋活動計測等を行っており、これらを用いた評価システムの提案も行っております。

また、医療現場や企業との情報交換、共同研究を積極的に行っており、得られた成果やシステムを社会に還元することを目的に研究を遂行しております。

2. 主な共同研究先

京都大学、医療法人葵鐘会、国際医療福祉大学、株式会社サンデシカ

3. 今まで指導した学位論文名

なし

4. 主な論文

- [Morino S](#), Ishihara M, Umezaki F, Hatanaka H, Yamashita M, Aoyama T. “Pelvic alignment changes during the perinatal period”. PLoS ONE. Vol.14, No.10, pp.1-11, 2019.
- [Morino S](#), Ishihara M, Umezaki F, Hatanaka H, Yamashita M, Kawabe R, Aoyama T. “The effects of pelvic belt use on pelvic alignment during and after pregnancy: a prospective longitudinal cohort study”. BMC Pregnancy and Childbirth. Vol.19, No. 305, pp.1-9, 2019.
- Xiang Ji, [Morino S](#), Iijima H, Ishihara M, Kawagoe M, Umezaki F, Hatanaka H, Yamashita M, Tsuboyama T, Aoyama T. “The Association of Variations in Hip and Pelvic Geometry with Pregnancy-Related Sacroiliac Joint Pain Based on a Longitudinal Analysis”. Spine (Phila Pa 1976). Vol. 44, No. 2, pp. 67-73, 2019.
- [Morino S](#), Yamaguchi M, Ishihara M, Umezaki F, Hatanaka H, Yamashita M, Aoyama T, Takahashi M. “Pelvic alignment risk factors associated with sacroiliac joint pain during pregnancy”. Clinical and Experimental Obstetrics and Gynecology. Vol.45, No. 6, pp.850-854, 2018.
- [Morino S](#), Ishihara M, Umezaki F, Hatanaka H, Iijima H, Yamashita M, Aoyama T, Takahashi M. “Low back pain and causative movements in pregnancy: a prospective cohort study”. BMC Musculoskeletal Disorders. Vol. 17, No. 416, 2017.

5. 現在の指導している大学院生数

なし

6. どのような大学院生の受け入れを希望するか？

研究テーマは主に女性の健康増進ですが、動作解析等のバイオメカニクスの研究も行っております。これらの研究に対して、高い意欲と研究を遂行する忍耐力のある方を募集いたします。また、研究にお時間を割くことができる、チャレンジ精神のある方を募集しておりますので、ぜひ事前にご連絡・ご相談ください！